

市民意見一覧

資料2

(参考)区分について

- A 次期計画に反映するもの(12件)
- B 次期計画に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの(237件)
- C 次期計画に当たり、参考とするもの(136件)
- D その他、市政運営等で参考とするもの(82件)

全体

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
		これからの将来を担う若者たちが生き生きとできるまちづくりに取り組んでほしい。	1	B
		京都にとって大学生は特別な存在。大学生というだけで、多少の失敗も許されるあたたかい空気があり、そのおかげで大学生がチャレンジングな取り組みを出来ていると思う。	1	B
		官民間問わず、大学生の力が活かせるさらなる仕掛けづくりに寄与する計画だと思う。	1	B
		素晴らしいと思う。	2	B
		子どもが減り、少子化が進んでいる中ではあるが、京都の大学の数を維持しつつ、学生ができる活動や留学生との交流も活発に取り組んでもらえたらと思う。	1	B
		人口減少の中で、学生数確保のため、頑張してほしい。	2	B
		非常に良いプランだと思った。このプランが実現することに期待しているので、頑張ってください。	1	B
		京都に学生を集め、活性化することは大変良いことだと思う。	1	B
		京都でしかない学びの充実が必要だと思う。	1	B
		京都は大学のまちだと思う。いろいろな文化があり、選択できるからいいと思う。	1	B
		京都は新しい物と古い物が両立していて、言葉、食べ物など魅力がいっぱいあると思う。	1	B
		楽しい京都、いろいろ勉強になる不思議な町である。	1	B
		京都出身で京都の大学を卒業し、大阪で就職をしたが、京都が良いなと思い戻ってきた。京都は大学が多いので、他大学の講座を受けることも可能だし、色々な分野が充実しているから、勉強するにはとても良い状況だと思う。	1	B
		京都に学生が来るようにして、京都の学校に興味をもってもらい、京都を学生のまちとして、より大きなものにするという計画にすごく可能性を感じた。	1	B
		若い人達が前に出てくることにより、良くなるのでは。	1	B
		京都の大学に通っている学生が、今の大学の環境をどう思っているのかが気になった。	1	C
		推進計画書の説明は何となく事務的な印象を感じたので共感しづらいような気がした。	2	A
		学生を主体に様々なことを充実させていこうというのは分かったのだが、文が硬くいまいちどんなことをするのかという具体的な想像がつかない。	1	A
		学生に興味を持ってもらうには、もう少し柔らかな表現の言葉を使うことやポップで読みたくなるような工夫が必要だと感じた。	1	A
		計画のわかりやすさ	1	A
		学生が静かな環境都市京都で十分に勉強、通学して、将来において、京都に居住して京都の未来に尽くして欲しい。	1	B
		京都の大学に通うメリットや魅力が多いが故に、計画に記載されている項目が多く、もう少し重点的に押し出すポイントを絞っても良いと思った。	2	C
		本編の趣旨から、5年ではなく10年タームで提示してほしい。社会、自然の変化は著しいが、「教育」は5年程度では語れない。本編を今更大幅変更はできないが、その趣旨を挿入していただきたい。	1	C
		全体を通して、国内外から京都にいかに入学者を迎え入れるかという面に偏っていて、国内外へと卒業生を送り出しているという視点が欠けている。どのような学生を国内外に送り出すか、そして国内外の社会に貢献するか、ということを検討して書き込んでいただきたい。	1	C

第1編(計画策定の趣旨等)

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
4	1概況(第1編計画策定の趣旨など)	あえて大学生を呼び込む必要はあるのか。もう少し納税力のある社会人や高齢者を呼び込める大学づくりを目指した方が良いのでは。大学生はそのまま留まらず、他の自治体に住民票を置いたままという感じなので、あまり呼び込んでもメリットはない気がする。	1	C
5	5計画の推進に向けて	「5 計画の推進に向けて」において、この計画を産官学がどのように推進していくのかなどのPDCAサイクルを、ポンチ絵などを使ってもう少し具体的にしたほうがいい。	1	A
5	5計画の推進に向けて	様々なご提案をされていますが、都度、市民の反応を見ながら、臨機応変に柔軟な政策を進めていただきたい。	1	B

第2編(大学・学生を取り巻く状況と課題)

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
6	(2)大学・学生数の推移	大学生が少ない。もっと大学生が増えたらいいと思う。	1	C

第3編(目指すべきビジョンと基本方針)

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
9	1ビジョン	他大学との交流を盛んにできる場と機会があれば良い。	3	B
9	1ビジョン	自分達だけの大学で取り組むのではなく、他大学との共同で取り組みができると面白いと思う。	1	B
10~11	2基本方針	レジリエンスやSDGsは無理矢理入っていると思う(そもそもこの単語自体がわからない。)	1	C
13	2基本方針	京都で学ぶ意義を深める。	1	B

第4編(施策の推進)「柱1:京都在学魅力の向上」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
12~	1京都在学魅力の向上	「京都ならではの学び」とは具体的に何か。本当に、学生は「京都ならではの学び」ができるから京都の大学に通うのか。	1	C
12	(1)大学間連携による学びの充実	大学の単位の共通化。	2	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	単位互換制度に京都鉄道博物館が入るととても楽しそうなので興味がある。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	学生が楽しめるような興味を引く内容の科目が増えると、今よりもっと活用したいと思う。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	学外で自分の興味のあることを学べる制度は他にはない良い制度だと思うので、一度活用してみたい。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	単位互換制度は考えたりするが、移動等の面が少し不安だったりする。普段の単位に少し+αがあればいいかなと思う。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	新文化庁が移転する中で、関連科目を単位互換の項目にもっと増やしてもらえたら「京都在学」ということをもっと活かして、大学生が学んでいけるのではないかな。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	学内を飛び出して、外の色々なフィールドで学べることは大きな経験になるし、特徴的な場所が多いので、このまま新しい単位互換科目の開設を実現させて欲しい。	2	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	京都ならではの科目をもう少し充実することができれば、単位互換科目の魅力が高まると思う。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	単位互換制度などは、大学がたくさんある京都ならではのたと思う。椅子に座り机で勉強するより、学生団体など、人との繋がりの中でたくさん学びたいと思うので、そのような学びで単位をもらえたら良いと思う。	2	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	グローバル科目を開設することには強く賛成する。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	大学の単位互換制度などをさらに広げ、お互いの大学の学生の行き来をより活発にしてはどうか。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	大学のコミュニケーション科目の授業で、外国人留学生と交流する内容にして、他の大学生とも交流できる単位交換制度にしたいと思う。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	京都サンガや京都ハンナリーズなどスポーツ部門の場所もPBLの実施場所に加えても良いと思う。	1	C
12	(1)大学間連携による学びの充実	クールジャパン、観光立国の学びを強化する。	1	C
12	(1)大学間連携による学びの充実	京都は伝統工芸品がたくさんあると思うので、それを知ってもらって守っていくにはどうすれば良いか考えるような科目の開設。	1	C
12	(1)大学間連携による学びの充実	まちづくりの公共系の科目から京都の観光政策についても学べるような科目があると良いと思う。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	京都世界遺産PBL科目を初めて聞いて、歴史がある京都ならではの科目だと思った。このような科目があるならグローバル科目と合わせて、京都の町や建物を大学生が留学生に案内すると良い。	1	B
12	(1)大学間連携による学びの充実	e-ラーニングは既に個々の大学で取り組みがなされている。大学同士をつなぎ合わせる方法を考えてほしい。	1	C
12	(1)大学間連携による学びの充実	東京や大阪などの大都市と比べるとまた違った魅力が京都にはあると思うので、それをもっと活かすべきであると思う。	1	B
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	「高校教員を対象とした障害のある学生の受入れに関する懇談会の開催」について、すばらしい取組だと思う。ぜひ今後とも充実させていただきたい。	1	B
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	「障害のある学生」と記載するとどうしても身体障害等だけと考えてしまい、発達障害などが外された印象を受ける。少し長くなるが、「障害や特性により支援の必要な学生」と記載できないか。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	障がい者の学生達が学びやすく、そして他の学生達と過ごしやすい環境を作るのがいいと思う。	1	B
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	大学生のまち京都なので、福祉制度や充実や連携をはかり、障害学生支援の充実を実現させて欲しい。	2	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	生まれつき目が見えない、点字で勉強してきた。受験の問題集なども点字だったら、もっと勉強しやすかった。大学は教室の移動があるので、点字があつたら分かりやすい	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	全国各地また京都府下のさまざまな自治体が手話言語に関する条例を施行しているが、本当に必要な中身(手話通訳制度)の部分は改善されていない。一方で、利用しやすいサービスに修正することは、手話発祥の地としても全国で名高い京都として、全国にプレゼンスを発揮できる機会ではないか。	1	D
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	手話通訳の派遣を断られる多くのケースが、専門的な通訳者がいない。各大学や企業が手話通訳者を養成するというのであれば、そこにも過剰なコストがかかる。自治体のインフラとして、手話通訳者の養成を行い、供給を行っていく必要がある。一定規模以上の行政施設には正規の通訳者を雇用する必要があるのではないかな。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	現状、手話通訳を大学や就労場面で活用するためには、事業主(大学や企業)に非常に大きなコストがかかる。すべてが福祉サービスの利用の範疇とはならないまでも、特に大学については助成の拡大は必要ではないか。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	障害のある学生に対する支援は、本来、それぞれの大学ごとに違いがあるということは望ましくなく、いずれの大学に進学したとしても、同等に教育の権利を保障するための支援があるべき。ただ、十分なノウハウや余力、専門性がない大学が存在するのも事実で、地域として各大学を支えていくような仕組みも大切になるでしょう。	1	B

13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	現在の社会福祉制度では、障害のある学生が大学に通うための生活支援が十分ではなく、大学における合理的配慮が確保されたとしても、その学生が学ぶという権利を確保しきれないという自体が生じてしまう。この点は、大学ごとの取り組みというより、福祉行政との連携が欠かせない部分で、大学のまちである京都だからこそ、このようなニーズに対応し、地域としてのプレゼンスを更に高めていくことが大切ではないか。	1	C
----	----------------------	--	---	---

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	障害のある学生が安心して、自分の学びたい学部で学ぶことができるよう、環境の整備をして欲しい。大学によってバラツキが出ないよう、京都の大学全体で考えて欲しい。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	未成年の飲酒、喫煙をさせない街づくりをすすめるべき	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	女子学生の防犯の観点から、街路灯の整備や一般家庭の門灯をつけるような取組を推進して欲しい。	1	A
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	京都への憧れから進学してくる学生も多いと思う。そういった方へのケア・サポートが大事。まずは大学ですべきことだが、行政サービスの積極的な広報も必要。	1	B
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	地方から出て来ても迷わない窓口を作る。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	市外から一人暮らしをする学生に向けて、ゴミ捨ての方法や交通機関など京都の行政で生活に必要なことをもっとわかりやすく伝えて欲しい。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	地元の方と交流することを多くして、ゴミ出しや街ごとのルールを教えてあげたりして、住みやすく楽しい生活を送ってもらおう。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	学生が多いことによるデメリットも考える必要があるのではないかと。ゴミの問題等、学生のマナーを良くしてほしい。	5	B
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	キャンパス内の禁煙の推進を追加されたい。喫煙は本人だけでなく受動喫煙また三次喫煙により周囲にも危害を及ぼす。健康的で安全な学習環境の確保にはキャンパス内を全面禁煙とする他ない。生涯を通じて喫煙をしない人材を育成するためにも、この取組みは推進されるべきである。	1	C
13	(2)安心して安全に学べる京都」の充実	京都市立芸術大学のキャンパス内敷地内禁煙は特に遅れている。喫煙所がそこかしこに存在し、未だ学内の売店でタバコを販売している。遅くとも崇仁地区へ移転するまでには敷地内禁煙を実現させるべきである。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	学生が安全に学べるまちづくりを(加害者にも被害者にもならない)。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	入学時のオリエンテーションの活用だけでは不十分。大学に於ける消費者教育を市消費生活総合センターとも連携し充実させることが求められる。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	「安心して安全に学べる京都」の充実には、大学内の学生の相談窓口担当者との連携も必要である。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	大学コンソーシアム京都の中に、犯罪・交通被害・消費者トラブル等に関することを学生が気軽に相談できる窓口の開設をこの機会に是非検討してほしい。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	娘の大学が遠く、バイクで通うようになり、便利になった分、親として毎日心配である。バスでは、どこの大学も同じ時間帯に混み合うので、それが〇〇大学に行きたくても諦めたりする理由になるのが悲しい。寮も他府県から通っている人優先なので、学生も時間に追われることなく、余裕のある生活が送れたらいいと思う。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	成年年齢引き下げに伴い、若年層の消費者被害が増加する恐れがある。大学における、消費者教育を進めていくべきである。	2	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	ニュースでも大学を取り巻くものが多いが、学生が楽しく学生生活を送っていないのではと思う。部活、バイトもブラック。	1	B
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	自転車で走る人が多いが、歩道を走ったり、道路だったり曖昧。自転車ゾーンを作って欲しい。	1	C
13	(2)「安心して安全に学べる京都」の充実	地域等での防災訓練の実施	1	A
14	(3)大学経営・運営の支援	大学の統合。	1	C
14	(3)大学経営・運営の支援	暗黙に各大学が仲良くするのが、主旨のように見受けられるが、各大学の建学の精神をいかしつつ、「よき競争」のもとに京都と大学・学生の成長が期待される。	1	B
14	(3)大学経営・運営の支援	学生を集められない大学は淘汰されればよいとする風潮もあるが、特に京都の場合、学びの質を高めるためのキーワードは「多様性」と「交流」だと思う。各大学の経営努力は当然だが、コンソーシアムを中心に大学間連携をさらに進め、事務局機能や一部科目の共通化などに踏み込むことも必要ではないか。	1	B
14	(3)大学経営・運営の支援	大学同士での研究協力の強化。	1	B
14	(3)大学経営・運営の支援	大学への寄付による市民税控除は初めて知った。もっと広報したら寄付は増えると思う。	1	D
14	(4)大学施設整備の支援・誘導	大学の真ん中に天然芝をつくり、学生がそこでコミュニケーションをつくれる場を作って欲しい。	1	B
14	(4)大学施設整備の支援・誘導	今大学が郊外に進出していることが多く、市内で大学生が魅力を持ち、生活出来る様に、図書館等教育施設を充実させ楽しく学生生活を送れる事が肝要と思う。	1	B

第4編(施策の推進)「柱2:大学・学生の国際化の促進」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
15~	2大学・学生の国際化の促進	外国人留学生を世界中から誘致することに関しては賛成。留学生には、日本の文化や歴史をしっかりと教育してもらわなければならないと思う。	1	C
15~	2大学・学生の国際化の促進	これまで以上に優秀な学生を海外から受け入れ、京都に多様な人材が集まるようになれば、京都にいる人材の活性化や、更なる優秀な人材が集まる循環ができると思うので、期待している。	2	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	世界で活躍する人材を育成することができれば、将来的に京都のメリットに繋がるはず。	1	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	留学生の誘致などによる国際化が必要だと思う。	1	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	京都は学生のまちとしての魅力を活用し、海外の留学生の誘致などに力を入れ、留学終了後も京都に住んでもらえるようにしてはどうか。	1	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	留学生が増加しているのがわかり、留学生に対する対策(留学生の呼び込み)も深めたい。	1	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	人も組織も京都内部に留まらず、他県とか国際的な情報を得ること。	1	B
15~	2大学・学生の国際化の促進	大学・学生のグローバルな若さに期待したい。	1	B
15	2大学・学生の国際化の促進	大学コンソーシアム京都を通じた留学、海外派遣、留学生の受け入れ。	1	B
18	2大学・学生の国際化の促進	外国の方に多く関わって頂くのが良いと思う。	1	B
15	(1)留学生の誘致促進	留学生は日本の大学に来て、東京に行きがちなので、京都の大学の魅力や京都の大学を卒業してからのメリットについて広告したら良いと思う。	1	B
15	(1)留学生の誘致促進	私(留学生)が留学の受験を準備していた時、(日本留学)塾に大学の人が来て、大学の紹介をしたりしたが、京都の大学もそんな風に広告したらどうか。	1	B
15	(1)留学生の誘致促進	京都は学生のまちだが、京都で学びながら国際的な感覚を身に付けられるよう、もっと京都ブランドを活かして外国人留学生を増やす施策を展開すべきだ。	1	B
15	(1)留学生の誘致促進	国外との連携を図るのは面白いと思った。姉妹校として国外の大学とつながり、京都の文化を発信する授業や、長期休暇を利用した京都の町案内などいいのではないかなと思う。	1	B
15~	(1)留学生の誘致促進	大学・学生の国際化の促進で姉妹都市とあるが、パートナーシティや世界歴史都市連盟などの京都市と関連している世界の都市に呼びかければ留学生が増えるのではないかな。	1	A
15	(1)留学生の誘致促進	留学生を京都に連れてくる方法として、スマホで京都の魅力を発信する。	1	B
15	(1)留学生の誘致促進	学生から海外の人に発信していく。	1	B
15~	(2)留学生の受入環境整備	留学生にぜひ京都の文化を知ってもらい地域と交流することで世界に羽ばたく人材に育てたい。	1	A
16	(2)留学生の受入環境整備	留学するのは、なかなかハードルが高いと感じるので、京都の大学に通っていても、日常的に留学生と接することができる取組を是非推進してほしいと思う。	1	B
16	(2)留学生の受入環境整備	留学生との交流拠点があると良い。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	日本人の学生も、もっと留学生の方々と交流したいと思うので、そういう支援を充実させて欲しい。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	大学を超えて、他の大学の留学生とも交流出来る機会があればもっと良いと思った。数回だけの交流とかではなく、年単位で大きな企画をするのは難しいのかなとも考えてしまった。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	留学生と地域との交流について、大学カリキュラムの中に取り組みむことに依り、留学生が実習体験の分野で、地域の人々との交流を深めることが想像される。それが留学生にとって、また地域にとっても異文化リテラシーの場となり、更に京都における福祉のダイバシティ研究にも貢献出来るのではないかな。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	大学・学生の国際化の促進において、留学生と地域・日本人学生の交流を促進することに賛成。大学内でクラス等があれば、人は仲良くなると思う。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	英語の授業で、留学生が日本人学生にスピーキングを練習し、逆に日本語を留学生に教えるというような授業をすれば先生も楽で、学生達も向上心を持って勉強すると思う。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	日本人学生等の少子化は重大な課題である事は言うまでもないが、外国人留学生の(外国人の研究者)受入に力を入れるのであれば、生活上のサポートに更に重点化した施策を施す必要がある。	1	B
16	(2)留学生の受入環境整備	家族での留学生受け入れや、家族研究者の受け入れにも十分配慮した体制が望まれる。	1	B
16	(2)留学生の受入環境整備	使用していない小学校校舎等を留学生との交流会館にする。まず手始めに姉妹都市の留学生会館設立を打診する。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	留学生への環境整備は、大学との密な協力が不可欠だと思う。	1	B
16	(2)留学生の受入環境整備	留学生の生活、ホームステイ等を通じて、京都市民が触れあえる施策に力を入れてほしい。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	近所に住んでいる外国の学生さんとの交流。	1	B
16	(2)留学生の受入環境整備	京都に来ている留学生に、京都に旅行で来ている外国人観光客のガイドを務めてもらう。留学生も京都の魅力を教えることで、更に京都についての学べるかもしれない。	1	C
16	(2)留学生の受入環境整備	もっと外国との関わりを持ちたい	1	B
15	(3)留学生の進路・社会進出の支援	先日、新聞記事で、無料通信アプリを手がける「LINE」が京都市に設置した新たな開発拠点の採用に外国人の応募が殺到したという記事を見た。応募者1千人中、約8割が海外からの申し込みだったそうだ。京都で学びたい、働きたいという外国人を受け入れる環境の整備をお願いしたい。	1	B
17	(3)留学生の進路・社会進出の支援	留学生が京都での学生生活に魅力を感じ、就職も視野に入れてもらえるよう、企業とのつながりを持てる機会を増やした方が良くと思う。	1	B
17	(4)日本人学生の海外留学促進に資する学びの充実	日本人学生の留学促進の記載があるが、近年の日本人学生(若者)は、所謂「内向き思考」といわれる中、将来的には留学にも繋がる「日本人学生の海外旅行等の海外での経験を促進する取組」が必要ではないかなと考える。	1	C

第4編(施策の推進)「柱3:大学の枠を超えた学生の活動の推進」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
18~	3大学の枠を超えた学生の活動の推進	学生の力を最大限にいかして、地域の活性化をしていくことが大事だ。障がい者の人と何か出来るような企画を考えた方が良い。	1	C
18~	3大学の枠を超えた学生の活動の推進	学生に対して、京都の良さとおわせて、育てていこうという意味を伝えることが必要である。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	京都学生祭典に今年初めて行ったが、盛り上がり驚いた。あれを学生の力で賄っているのがすごい。学生のまちならではだと思うので今後も続けて欲しい。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	いつもコトカレのサイトを楽しんでいる。今回、計画を見てはじめて高校生向けのサイトということを知ったが、学生からしてもコトカレを通じて京都の魅力を知ることができている。京都の魅力を発信するツールとして、今後も頑張りたい。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生PLACE+のような場所があるのはとても嬉しいが、京都学生祭典の人達が主に使っているイメージがある。もっと増やしてもよいかもしいかなと思った。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生が困っているのは、自由に使えるスペース(飲食可)、自由に活動する拠点があれば「居場所」をもらえて、とても嬉しい。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	京都学生広報部の活動について、京都学生祭典や京都国際学生映画祭など、他の学生団体との連携があれば良いと考える。	2	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生が多いので、学生広報部のような学生団体を増やした方が良いと思った。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	他大学との交流する機会を増やせば、おもしろいイベントを運営できるのではないかな。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	数多くの学生団体があるので、一体となって集結したイベントを行うのも良いと思った。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生が主体となり、学生が面白いと思うようなイベントを考えるのも良いと思った。	4	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	なるべく無料だったり、安くで参加出来るイベントを企画して、来てもらう。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	新しいコラボをためてみるという。出来たら2つではなく3つを組み合わせてみると新しい知恵が産まれると思う。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生団体と京都の企業などが協働で企画をすることは、とても良いと思った。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	学生同士の交流。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	数多くの大学が存在する京都市で学んでいるうえで感じるのは大学が多い一方であまり他大学との交流等が少ない。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	「学生祭典」に参加する大学に京都をテーマとした魅力を演劇などで伝えていく。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	京都の学生が色々な行事に関わったり、他の大学の学生と交流し、何かを運営していくという企画があり、面白いかなと思った。	1	B
18	(1)学生の主体的活動の促進	京都市内で、音楽、文学、芸術などの文化的コミュニティやビジネスのためのコミュニティを作り出し、学生・若者が京都に来れば面白いことができるという状況を作り出す。京都市は「モノ」「カネ」を提供する。	1	C
18	(1)学生の主体的活動の促進	京都の学生が主催するイベントをもっと増やしてPRする。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域活性化活動を行っているが、学生さんの参加、企画を行政・企業・住民と一緒に進められるイベントや情報発信のグループを作りたい。行政主導ではなく、個々の力を集結させて、より発展的な方向性を持つつながりを作りたい。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生の人たちに、自主学習、自問自答、自観、自省と試行錯誤を促す。時間と場所を提供・支援するための施策も含めた方が良い。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実は、特によい取組と思う。区役所を介して、どんどん推進してほしい。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	今は交流が無い。例えば、学生と京都の人がキャンプをしたりすると交流がうまれるのではないかな。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	子どもの数が減る中、若者が活気のある町は盛り上がりと思うので、大学生が勉強はもちろんのこと、地域活性化活動等に取り組めるよう、行政だけではなく、企業や住民が協力して頑張らないといけない。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生と地域の連携強化は充実させるべきだと思った。	2	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	大学が協力し、多少の強制力を使って、学生に地域活動をさせると良い。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生さんとお年寄りの楽しい交流があると良い。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	洛西ニュータウンでは、あまり大学生を見ない。小中高はあるけれど、交流がない。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生の力を日本とか、まちのために活用して欲しい。右に倣えじゃなく、個性を発揮して欲しい。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都は学生のまちと言われているが、学生がもっとまちを活性化させることが大切だと思う。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生が地域のイベント等に参加しやすくなるよう、機会の創出や、情報の提供などが拡充されていけば、より良くなっていくのではないかな。	1	B

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の学生さんとの接点を作り、交流し、共に活動する。	3	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の活性化に積極的に学生が関わっている点がとても素晴らしいと感じた。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	自治会・町内会では役員の高齢化やなり手不足などが深刻な状況となっている。学生のうちから、地域のイベント等に参加することにより、地域活動への参加や自治会・町内会活動が身近なものになっていき、地域にとっても活力が生まれ、将来の担い手の育成にもつながると思う。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の自治会に学生が参画する。	2	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の伝統行事に参加する。町を自分達で支えていく活動に参加してもらおう。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の地藏盆や盆踊り、運動会や学区イベント等への学生の参加を、大学・町内会等が協力することで半強制的にでも参加する方向にし、地域に溶け込み、そういった取り組みを大学側から広報を行っていく。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	子どものボランティア指導員。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	独居の高齢者と学生さんの下宿が実現すれば、共存共栄助けあえると思う。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	シニアと学生の下宿があると良い。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	自衛消防隊員として、日々仕事と共に活動してるが、未来を考えると学生員の減少は見えている。これからいろんな防災を自主的に活動して頂きたいので、エールを送る。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生の地域の消防分団での活動推進。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都には毎年たくさんの外国人観光客が訪れるので、学生と外国人がつながるイベントやボランティアを増やしたり、PRして欲しい。外国人と接することで価値観が広がったり、人生経験を豊かにすることが出来ると思う。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生と地域の方などのコミュニケーションの場を創出することが必要。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	外国から来られた方に、京都のPRができる人や会社が増えると良い。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都人検定や観光PR検定など設けてスペシャリストを育てると良いと思う。京都スペシャリストや地元話を教えてくれる人に案内してもらいたい。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都に関する題材であれば何でも可能ではなく、ある程度観光や治安、防災や交通などジャンルをいくつか指定して学生から政策を募集する形をとったほうが、学生達も具体的に考えやすくていいと思う。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	「京」と「学」の融合は単なる行事参加や見学に終わらせない。現在のところ、学生が地域行事をも見たり、一部参加が多いが、企画段階からの参加が期待される。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都の学生だからできることという視点でアプローチをすれば、あらゆる課題に対して多様な力を合わせて解決の糸口を見つけることが出来るのではないかと。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	この前観光地(蹴上周辺)に行った時に、東山高校の学生さんたちが、観光客に困っていることはないかというようなガイドをしていたのを見た。そういう活動を広げたり、医療機関ではまだまだ多言語の案内などが遅れていたりするので、ボランティアで通訳など、社会とのつながりを持つような活動をしてもらえたら良いのではないかと。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生時代から、社会貢献できる活動について考え、実施して欲しい。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	地域の方々の役割についてもっと地域の人々に対する配慮が欲しいと思った。学生が住民を指導・コントロールしようとするのではなく、共生の心を持って提案して欲しい。でも、これからも共に活動して頂きたい。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	市民と学生が共生する必要がある。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	卒業後の大学生が京都に住み続けられるように、市営住宅等を学生枠で貸し出す。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都駅前崇仁地域で京芸大生、京芸大卒業生枠を作って欲しい。	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	他地域から学生を呼び込むため、学生に空き家に住んでもらってはどうか。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	市営住宅の空き家の利用について、安く部屋を借りることが出来るなど、経済面でのフォローが増えたと大学生もより住みやすいと思う。安くするかわりに、地域の活動、自治会になるべく参加するなど、条件をつけると面白くなるのでは。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	学生の主体的活動の促進のために、青少年活動センターをもっと活用すべきだ。	1	B
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	人権擁護委員と学生が連携した人権啓発活動を実施したい。	1	B

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	京都には日本の他の都市にはない特徴がある。これを、京都には現代日本が抱える「少子化、高齢化、過疎、空き住宅」などの問題を都市と地方の両側面から解決するチャンスがあると前向きに捉えてはどうか。この問題を考える場と学生の活動を連携できないか。是非、京都を世界的な問題解決の場にしていただきたい	1	C
19	(2)学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実	大学生の授業やサークルで地域と触れあうのは良いが、イベントの企画運営を仕事としている方からすると、とても迷惑なこと。通りすがりで何年かしか地域と関わらない学生と何十年と関わっていくものと、スタンスもサービスも違う。コーディネーター機能を企業に行わせてもよいのでは。	1	C
19	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	京都市内で長期有給インターンシップを調べていたが、東京・大阪に比べて、とても少なかった。できれば増やして欲しいと思った。	1	B
19	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	担い手がいない伝統工業などの仕事を学生に知ってもらうための企業説明会などがあっても面白い。	1	B
19	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	京都市以外の課題、可能性にも触れる機会を。例えば、京都北部や南山城村などの地域にスポットをあてる。	1	C
19	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	議員事務所への学生インターンシップの充実。	1	C
19	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	大学生を市役所のバイトに採用し、仕事の内容等をよく知ってもらうようにすると良い。もっと京都市政に関わってもらう機会を提供する。	2	C
21	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	学生側に色々な仕事、長く続けられる職種がわからない、名前の知っている聞いた事がある所へ入ることが就職だと思っている。そこに入れないと諦めて仕事をしなくなってしまっていると思う。	1	B
23	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	不言実行、有言実行の精神を持ち続けて、学生から“この仕事をしてみようかな”と思われるような事を実践すべきである。	1	B
23	(3)大学卒業後の多様な選択肢を描ける学びの機会の充実	体験実習をどんどん若手を受け入れてやっていく必要がある。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都は文化庁が移転してくるということからも、文化あふれ魅力的な都市で、京都の大学だから行きたいという学生も多い。そういった学生に京都ファンになってもらうことが、今後の京都の発展にも重要ではないか。京都ファンになってもらうことで、就職で東京などに行っても、興味というつながりを持ってもらえる。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	学生生活が楽しく出来る内容・仕組みづくりをして情報発信。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	アプリとかで寺院紹介してほしい。一括で見たいから	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	18歳人口が、参加出来る京都のイベントを充実。祭りや雅楽などの体験や講習などを実施。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都市キャンパス文化パートナーズ制度について、二条城に安くは入れると思ったら、登録が大変だった。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都市キャンパス文化パートナーズ制度とか、まとめてアプリとかで発信して欲しい。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都市キャンパス文化パートナーズ制度について、わざわざウェブブラウザに飛ぶこと自体がちよっとイヤ。制度とかの名前が難しいし、長くて覚えられないので、もっと短く分かりやすい名前にしてほしい。	1	C
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」加盟施設について、30ヶ所ほどしか利用出来る施設がないということで、学生への周知の他に、各文化施設への周知活動を活性化させるのはどうか、またメールでお知らせについて講演会のお知らせ以外の施設のPR資料(館内などで配布されているもの)のPDFなどを添付してみるなど、興味を選択肢を広げる工夫が必要だと思う。	1	C
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	学生の殆どがスマホを持っているので、アプリやSNSを活用した「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」はすごく良いと思う。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都の歴史を知ることにより、将来を考える材料となったり、教訓になることもある。京都の文化を体験し、日本人として良い部分を活かしながら、世界の歴史にも触れ、グローバルに生きていって欲しいと思う。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	神社仏閣の入場料(拝観料)が安くなれば、若者達は動きやすくなるのではないかな。	1	C
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	京都の特徴として、芸術系の大学が多いことがある。最近、芸術活動も多様になってきており、単に絵を書くだけではなく、人と社会と関わりながら作品を創り上げる方もいる。大学在学中からそういった進路もあるということ、芸大生のキャリア教育として進めていけるとよいと思う。	1	B
20	(4)学生が京都の文化や魅力に触れ合う環境づくり	お寺などに興味がある人は行くけれど、もっと京都の魅力知って欲しい。京都の人が京都の学生に対して誇りを持って欲しい。自由なところが京都のいいところ。若い人に京都の未来をどうしていくか考えること必要。	1	C

第4編(施策の推進)「柱4:学生の進路・社会進出の支援」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
21~	4学生の進路・社会進出の支援	大きな企業を誘致したら、学生の就職先が増える。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	大学卒業後も京都に住み続けてもらうための取組が必要である。そのためには、学生と地域の企業をマッチングする場の創出や、起業支援の充実などに取り組んでいくべき。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	卒業時に多くの学生が首都圏や大阪に流出してしまっている。京都市は財政難に陥っているが、大学生が京都に就職することで、税収の増加が見込める点からも、大学生に卒業後も京都で活躍していただくための施策が重要だと考える。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	特に京都にはたくさんの中企業があるが、担い手不足が課題となっており、学生が京都の中企業に就職する選択肢を持てれば、大きな効果がある。プラン策定に当たっては、ぜひこういった施策を検討して欲しい。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生に京都市に定着してもらうためには、京都の企業のことを広く知ってもらう必要がある。	3	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生のまちの強みを生かし、卒業後も京都の企業に就職してもらえる取組が必要。	2	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生は卒業したら、地方に帰る。京都に仕事があった方が良い。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都の魅力ある企業と学生が出会う場の創出を期待する。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	就職では都会(大阪・東京)に行ってしまう。京都に残ってもらうために、企業とのつながりも大切にしたいし、京都にいれば何か得になることを作ればよいのではないかと。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都の企業について色々知る機会があったらいいと思う。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	製造の地元産業がよく分からない。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	大学生の市内就職が進むと、市にとっては人口減少対策になる。魅力ある企業には大胆な税制優遇を行うなどのメリットを与え、企業進出を促進し、学生の市内就職(市内居住)を推し進めるべき。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	真に魅力ある中企業、優良な中企業のみをバックアップし、学生とマッチングできれば、市内就職の促進に繋がるのではないかと。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	地元産業に力を入れ、京都に就職を希望するよう魅力のある街づくりに努める。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生としては、自分の将来のことも考え、できれば中企業より安定した大企業に就職したいという傾向がある。中企業を学生に知ってもらうというのを否定はしないが、学生側のニーズは低いのではないかと。学生のことを本当に考えるのであれば、就職を目指している大企業の情報を発信するべきである。中企業だけを対象にするのではなく、大企業も対象に加え、学生との橋渡しや情報提供を行うべき。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	大企業の本社機能誘致等により学生が望むような働く場を創出することこそが、学生のためにも、京都市のためにも、行政がすべきことではないだろうか。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生が魅力を感じる企業を誘致するべき。	1	D
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	少子高齢化、人口減少への対応として、学生には、大学卒業後も京都に定住してもらう必要がある。そのためには、地元企業とのマッチングや住まいの確保等、総合的な支援を行う必要があるのではないかと。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生数が多い一方、就職に伴う市外への流出も非常に多く、優秀な人材を逃しているという現状への対策についても考えていく必要がある。	1	B

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	地元に残ってもらうには、大学生の間に企業と大学が色々コミュニケーションがとれる様に企画を考え、イベントなどに大学生が参加出来やすくしたいと思います。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都の大学の卒業生と企業の社員との交流イベントがあれば良い。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	美大出身で大学卒業以来20年程、京都に住んでいる。クリエイティブな仕事を志す友人は東京にしか仕事がない、関西では仕事があっても収入が低いということで、20歳代後半にこちらを離れてしまった。京都に就職先があれば住みたい人は多いのでは。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都で学んだ学生さんが、引き続き京都に魅力を感じ、ひとりでも多く、「京都で働きたい」と思えるよう、大学と企業と行政が連携した取組が広がってほしい。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生を公務員としてたくさん就職させてあげたら良い。	1	D
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	有名企業における京都の大学出身者の積極的な採用。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	2022年の18歳成人を好機と捉え、大学と企業のインターンシップを含めた在学中からの交流を図るべき。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	以前、京都の中小企業と学生とのマッチング事業に携わった経験があるが、素晴らしい企画であっても知られなければ意味が無いため、PRには力を入れる方向が良い。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	学生数が多いにも拘わらず、京都での大規模な就職活動に関するイベント等が少ないと感じたので、もっと増やして欲しい	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	中小企業と一緒に学生が課題解決案、例えば中小企業が困っていること、消費者と企業が共通する課題、環境問題や、食ロス、女性活躍、子ども保育などを考え、共創していく。そうしていくことで、中小企業の魅力に気が定着する可能性がある。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	大学卒業後の支援が必要。	1	D
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都市わかもの就職支援センターで就活支援などを行われている中で、京都の企業を知ると様々な選択肢がうまれると思うので、将来的に利用してみようと思った。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	働く場所が少ないと思う。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都企業の情報を伝える観点は重要だが、多くの若者に京都を魅力的に感じてもらうためには、近年京都進出が相次ぐグローバル企業やソーシャルビジネス、NPOなども含め、多様な未来の選択肢が開ける可能性を発信することも重要ではないか。	1	A
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都は、まちの魅力に惹かれてわざわざ府外から入学に来る学生が多い。よって卒業後も京都の魅力発信や、観光、英語に関する仕事に就きたい方が多い印象。観光業をやるなら京都市！英語を使って働くなら京都市！というブランディングをするのも手だと思う。幸い、ホテルや飲食店は多くあるので、アルバイトなどの連携がとれば尚良いのではないか。	1	C
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都全体の企業の本当の姿を見学して、良さを確認して欲しい。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	京都の大学生に残ってもらうためには、企業はかなりの努力をされていると思う。京都は世界中でもよく知られているのだから、なぜ流出するのかと思う。京都で活躍して欲しい。	1	B
21	(1)京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信	人口が減少している中、活気あふれる京都市にするには、学生の間だけではなく、卒業後も定住し、京都で働く人材の確保が重要と考える。ながく京都で生きていきたいと思う人が増えることが、市の発展と持続性を保たせられるものであると思う。	1	B
22	(2)「働き方改革」の推進と学生を取り巻く就労環境の向上	約1200年もの間、都であった京都でしか学べないことがたくさんあるので、そこをPRし、日本の歴史・文化に触れてもらう。そして京都を好きになってもらい、京都に住みたい！働きたい！と思ってもらえるようにする。そのためには、転動がないや育児・介護休暇が取りやすいなど働き方改革が必要だと思う。	1	B

第4編(施策の推進)「柱5:大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	大学と行政・地域が連携し、まちづくりの活性化をより進めること、人口減少を防ぐためにも、卒業した学生が市内で働くことを促進することが重要かと思うが、「学生が地域のまちづくりと関わる機会の充実」や「京都の地域企業と連携した担い手育成と地域企業の魅力発信」など、そうした観点が盛り込まれていて良い。	1	B
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	学生の参加による地域の活性化と市内での就労を促進するためにも、大学・地域・行政の3者の相互連携、という視点があってもよいかと思う。	1	B
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	子育て世代との交流を増やして、大学に対するイメージを小さい時から育てていく取組が必要。	1	B
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	芸大の移転に期待している。	1	B
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	京都の企業に勤める方(経営者など)を大学の講師に。	1	C
23~	5大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化	京都の大学と企業の連携。	1	B
23	(1)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	京都の新しい視点の開拓、遊園地や酒のテーマパークなど、新しい学ぶ機会を。	1	C
23	(1)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	新元号への移行に伴う古都のあり方を講義。	1	C
23	(1)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	「学びなおし」に興味をもつ学生以外の層もターゲットになりうるため、幅広い世代が学べる環境づくりについて産学官で連携してもらいたい。	1	B
23	(1)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	宮大工や景観を守る人材の育成に力を入れる。	1	C
23	(1)人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	人生100年時代に、社会人の学びの場を充実させて下さい。	1	B
24	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	1000人程度の学生数の京都芸大の移転に何百億円も使うのはいかがなものか。そのお金を大学政策全体に使って欲しい。	3	C
24	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	京都市立芸術大学の移転時期は2023年度とされており、計画書の最終年度である2023年度に「文化芸術創造拠点」が整備されているのは厳しいのではないが。	1	C
24	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	文化・芸術の推進について、音楽分野も加えるとより文化芸術の幅が広がるのではないか。	1	C
24	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	本計画は、学生および京都市民に対する大学サイドからの文化的景観環境の視点が欠落している点において不十分なものになってしまっている。大学にとっては少子化の中で差別化や個性化を演出できる重要な社会的な顔であることを意識して、正門前の歩道に面して一年草のような草花での彩りを通して大学の倫理社会性のエンブレムとして美化を図り、大学の外からの景観上の見え方に質の違いが出ることに目を向けてはどうか。特に京都芸大には、機能面に偏重せず、他大学に対し手本となるような文化景観環境を重視する重大な責務があるものと考えている。	1	C
24	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	京都の文化を東京から発信するのではなく、京都から発信しないとダメ。笹岡さんとか、芸術文化関係の人が発信していく必要がある。	1	D
25	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	文化庁移転のメリットをもっとアピールすべき。	1	D
25	(3)大学をいかした文化芸術環境の向上	京都は大学が多く、大学生の活力が原動力となって成り立っているといっても過言ではない。特に芸術系の大学が他府県に比べて非常に多く、このような特性を十分に生かした取り組みとなることを大いに期待している。	1	B
25	(4)大学と地域との連携の推進	100年後の京都のために、大学と地域などの連携は欠かせない。どんどん連携を深めてほしい。	1	C
25	(4)大学と地域との連携の推進	ゼミでやっている活動の手助けをしてもらえると助かる。	1	B
25	(4)大学と地域との連携の推進	学生が京都のことを知れるように気軽に話ができる、形式張ったものじゃなく、お互いが気軽に入れる、例えば学校の一角にお茶飲んだり出来る場があると良い。	1	B
25	(4)大学と地域との連携の推進	地域に密着したイベントをやってもらって、親しみやすい大学があれば嬉しい。	1	B
25	(5)小中高大連携の推進	高校生でも、大学を体験出来る、実感がわかないと何が出来るのか、何がしたいのかわからない。1日入学があると大学を選びやすい。小学生が参加出来るイベントがあると良い。	1	C
25	(5)小中高大連携の推進	中高生、または留学生に対して、実際の大学生、社会人が、将来の事について相談に乗ってくれるイベントとかあったらいいと思う。	2	B

第4編(施策の推進)「柱6:国内外への魅力発信の強化」

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
26~	6国内外への魅力発信の強化	他都市に見られない京都市の特色として「大学・学生のまち」をPRしていくことが必要だと考える。しかもこの特色は若い人を呼び込むことにも繋がるはず。ぜひともその充実とPRに力を入れてもらいたい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都でしかない学びが何なのか発信していく必要がある。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	18歳人口の減少に伴い、学生の獲得競争は今後ますます激化するものと思われるが、京都にはそれを勝ち抜ける魅力とポテンシャルが備わっている。全国の若者に、もっと京都で学ぶことの魅力を強くアピールし、「京都で学びたい!」、そしてその後は「そのまま京都で就職したい!」と思ってもらえるようなPR戦略も大切な要素だと考える。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	古都以外のアピールをした方が良いと思う。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学生に京都で学ぶ魅力をより知ってもらうことが必要。また、その魅力を世界中に発信し、京都で学んでみたいと思ってもらえることが大切。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都で学生生活を送るのはすごいことだということを改めて学生に発信、認識させたい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学生を呼び戻すには、家賃の軽減等、大学設置にかかる税金負担軽減、定期券(交通機関の)等の優遇。	1	D
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都には伝統的な文化や産業がたくさんあるので、それを京都以外の地域に住んでいる方や国内だけでなく、世界へもっと発信していければ、京都の魅力に気づき、結果的に京都に学生が増えると思う。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	情報発信する際に、YouTubeでチャンネルを作り、動画をアップロードして魅力を伝えるのも一つの手段かと思う。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都の観光地の素晴らしさを知ってもらって、住みやすいまちだと言うことをアピールしていくことがいよいよ思う。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	「単位互換制度」のことや「京都学生祭典」のことをなかなか知っている人が思っていた以上に少なく驚いた。Twitter、Instagramなどの有名なSNSを使うことで、情報が伝わるのではないかな。	2	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	Twitterの広告などを利用して、京都市をフォローしていない人にも情報が流れるようにすれば効果的だと感じた。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	単位交換制度を知らない人が多い。前に単位交換の授業一覧を見たが、少し見にくかった。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	単位互換制度を広める活動がしてみたいと思った。私自身も初めて知ったので、周りの人にも広めたいと思った。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学の単位互換制度を知らない大学生がたくさん居ると思うので、もっと推して頂きたい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	単位互換制度は選べる科目も多くないし、手続きとかもあつたりすると、利用したいとあまり思わないので、新たな科目開設も大事だが、制度を認知してもらう必要があるのではないかな。	2	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	キャンパス文化パートナーズ制度など、知らない取組が多かったので、SNSなど活用して広報を強化してほしい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	単位互換事業など、京都ならではの素晴らしい学びを、もっと学生に知ってもらい、活用してもらう事が重要であると思う。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	サークル活動の中でキャンパスプラザを使用しているが、友人にはキャンパスプラザのことやいろいろなチラシに書かれている事業を知らない子もいる。多くの学生が知ることができれば、サークル活動なども活発になると思う。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	学生にもっと知ってもらいたいと率直に思った。学生祭典の存在も勿論だが、「大学のまち」「学生のまち」を知らない学生がまだまだ多い。知られていないことがすごく悔しいし、すごく魅力のあることだと思うので、広めていきたい。そのために、学生に寄り添った広報や計画が必要ではないかな	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都市の皆さんが計画されていたり、実施されているものが、あまり学生には伝わっていない気がした。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都学生祭典としては、すごく良い経験ができ、絶対に自分の糧となる要素がある団体なので、もっとたくさんの学生に活躍したり知ってもらえたらと思う。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画の中で、キャンパス文化パートナーズ制度のような取組をしているようで、とても魅力的だが、私はその取組を知らなかった。内容を見ると、とても充実していて魅力的なのに、中々学生が知る機会が少ないのは残念に思う。これらの素晴らしいサービスをより多くの人知ってもらえることが大切だと思う。	2	B

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
26~	6国内外への魅力発信の強化	孫が京都の大学に昨年入学した。大学生の間に、楽しく京都の町を知って欲しい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	もっと様々な価値観、知識を学びたいため、他の大学のイベント、どのような学びをしているか、どんな活動をしているかを知れるSNSアプリがあると便利だと考える。大学生のためだけの情報交換、交流アプリ、もしくはサイトがあれば、もっとたくさんの人と出会い、豊かな人材が育ち、大学生活を京都で過ごしたくなると感じるのではないかと。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	学生向けのアプリはとても良いと思った。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都市キャンパス文化パートナーズ制度について大学コンソーシアムがいくらPRしても、知っている人が少ないなら、もっと各大学にPRして、学生に伝わる様にしたほうが良いと思う。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学コンソーシアムの存在やそこでの取組を知ってもらうために、そこに所属している大学、特に学部と連携する。入学してから説明会があるので、そこでPRする。もしくはPR隊を作って新歓とかに参入する。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都が学生のまちということを改めて知った。学生向けに様々なイベントやサービスを知る事ができた。このような情報を大学1回生の時に知りたかったと思う。「若者」「学生」と絞るだけではなく、ターゲットを大学1回生に絞ることで、より良い成果を生むことになると思う。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	学生のための多くの施設や制度があることに驚いた。せっかく学生のためにあるので、PRをもっと推進したらよい。例えば、大学の講義内での告知、マスメディアを利用した告知など。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	学生が京都の文化や魅力に触れる機会の拡充のためにアプリを使うことは良い事であると思う。しかし、このアプリがある事を知ってもらわなければ、意味がないので、大学での新入生配布資料と一緒に広報してもらおうといった広報活動も必要だと思う。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	新しくアプリを作るとマイナー過ぎて広まりにくいのではないかと。情報を発信していくにはFacebookとかメジャーな手段の方が良いのかなと思う。もし新しいアプリを運用するならば、大学生の間の中で、シラバスみたいに流行するための取組が必要。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都市キャンパス文化パートナーズ制度は京都で学ぶ大きなメリットの一つだが、あまり対外的に発信されていないように感じる。「学生にやさしいまち」をPRする材料としてもっと積極的にアピールしてはどうか。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	LINEなどで学生生活のお得情報をまとめて発信して欲しい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都市が展開している大学生向けのサービスをまとめて、使いやすく京都の大学生なら持っているようなアプリや場所ができればと思う。是非、京都学生広報部の「コトカレ」サイトと連携して、プロのクリエイターや行政など色々な背景をもった人達と作ってみたい。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都の土地は場所が分かりにくかったり、バスがどこに向かっているか、わからないことがあるので、交通機関の説明や行き方も詳しく示してくれるようになると有り難いと思った。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	学生は学割という言葉に弱いので、その情報を発信してほしい。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	大学生が京都に来るメリットを発信する。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	住みやすさをアピールする	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	様々な大学があり交流が出来るのは、学生のまち京都ならではのメリットだと思うので、アピールできればいいなと思った。	1	B
26~	6国内外への魅力発信の強化	“京都の良さ”を漠然と考えていても伝わりにくいかもしれないので、具体的に何を伝えたいかをはっきりさせると良いかもしれない。	1	C
26~	6国内外への魅力発信の強化	京都の宣伝をして、もっと良い所を沢山知ってもらおう。PR活動をする。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	様々な大学の人と関わるようなイベントや、京都の企業とのコラボの商品やイベントを増やし、全国の中高生に伝わる様に発信する機会を増やせばいいと思う。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	京都は大学が多いながら少子化の影響で入学者数は減っている。京都の魅力は京都の学生がPRすれば学生自身興味湧く。	2	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	知り合いなどと話している中で、「大学のまち・京都」という認識が、京都のみならず、他都市でも広がっていると感ぜられるが、若者の間で、どれだけの認識があるか。中高生を対象としたPRが必要ではないかと感じる。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	京都学生広報部の取材対象が京都駅を境とした北のエリアばかりだと感じた。ぜひ南のエリアも取り上げて欲しい。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	京都は、幸いにも修学旅行先として、選ばれることも多いと思うので、そのような機会を通じて、宿泊施設や土産物屋、観光地と連携して、PRしてはどうか。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	修学旅行生に「観光する京都」だけでなく「生活する京都」にも魅力を感じてもらうために京都の大学生が修学旅行生に向けて授業をする。授業のテーマも京都の文化を中心にする。歴史だけでなく、地理や大学の多さなど京都の魅力なので、堅いイメージの「文化」学習を避けられると思う。	1	C
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高校生・保護者等への魅力発信	京都学生広報部も高校生や企業とコラボするなど、様々な形で連携できたらと思う。	1	B

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高生・保護者等への魅力発信	京都の大学生生活がどれだけ充実しているのか、学生目線でもっと広める必要がある。	1	B
26	(1)「大学のまち京都・学生のまち京都」の中高生・保護者等への魅力発信	進路を決める際に、高校の先生の薦めもあって、京都の大学を考えるようになった。先生にも、京都の大学を選択肢に含むことを薦めてもらうようにする。	1	A
27	(3)大学・市民向け広報の充実	市民参加が出来るイベントを増やして欲しい。	1	C
27	(3)大学・市民向け広報の充実	おもしろいイベントをたくさん開いて欲しい。	1	C
27	(3)大学・市民向け広報の充実	色々な活動を知る機会が欲しい。	1	B
27	(3)大学・市民向け広報の充実	市民が参加出来る大学が増えて欲しい。	1	B
27	(3)大学・市民向け広報の充実	大学・学生が多いことは、その都市のイメージをプラスに作用させるものであるし、実際、若者が多いまちは活気があって良いと思う。ただし、行政が市民から得た貴重な税金を大学や学生に投入する以上、その都市(あるいは市民)にとっても何らかのメリットが必要である。そもそも何のために「大学のまち・学生のまち」であり続けることを目指すのか、京都市にとって何がメリットなのかをもっと具体的に市民に分かりやすく伝える必要がある。	1	B
27	(3)大学・市民向け広報の充実	市内に数多くある大学が十分に連携しているようには思えないため、大学コンソーシアム京都が果たす役割について、見える化を進めるとともに、各大学に入り込んだ動きを期待する。	1	C
27	(3)大学・市民向け広報の充実	大学主催のイベントを開催できる場所作り、情報発信。	1	C
27	(3)大学・市民向け広報の充実	FacebookとかSNSをもっと若者目線で発信して欲しい(インスタ映えするお寺や商店情報も)	1	C

その他

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案 区分
-	-	中小企業側も学生から選ばれるような企業となれるよう、自社のレベルをあげ、成長するよう、自助努力していくことが求められる。	1	D
-	-	交通費が高いため、文化施設の優待があっても、行きにくい事があるのではないかな。	1	D
-	-	本当に学生の意見を聞いて作ったものなのか。実際に学生だったら、通っている大学の授業料が安くなるとか、市内の賃貸に補助が出るとかいい物件を紹介してくれるとか、京都にいる間に巡っておくべき場所やいいお店の情報とか、そのようなものではないのかと思う。	1	B
-	-	住所変更を市に申告せずに京都に引っ越してくる大学生に、引っ越しの際に市に申告させるべき	1	D
-	-	楽しめる場所を増やす	1	D
-	-	選挙の投票率を上げるために大学全てに投票所を設置すべき	1	D
-	-	自転車駐輪場を増やしてほしい。	4	D
-	-	下宿空間(契約問題等)の確保をする事。	1	D
-	-	都市部に地方から来た方用の家が建てられる補助を京都市が行う。	1	D
-	-	京都の地下鉄やバスの料金が高すぎると感じるの、もう少し安くは出来ないか。電車の運行の間隔も増やして欲しい。大学生が多くて、とても混雑するので、本数を増やし、解決して欲しい	2	D
-	-	交通の便で、電車・バスの本数を増やして、学生は無料にしてもらいたい。	1	D
-	-	北陸新幹線の延伸を急いだ方がよい。東京に住んでいたが東京から金沢・富山に行くのが便利。	1	D
-	-	京都を好きになってもらうため、きれいに保つと良いと思う	1	D
-	-	下宿代を安くし通学の交通の便を良くする	1	D
-	-	リニアを京都に。	1	D
-	-	通学で利用する電車、バスの割引。	4	D
-	-	まちをきれいにする。	1	D
-	-	大学生用のマンション(1人住まい用)を多く作る。現在、民宿やステイが多く建設されていない。おそらく、建築物の高さ規制を無くさない限り、キャパシティがまかなえない。マンションの1階に朝食やランチを安く食べられる、お店を入れる事を条件とする。その為の補助金を市が出す。	1	D
-	-	大学の町京都で下宿屋を増やし、他の地区に行った人を戻すようにあたたかく迎える。	1	D
-	-	学生の交通費の節約のため、駐輪場を無料化してはどうか。	2	D
-	-	祇園祭の時の京都がきたなくなってしまう。立命館に行く時のバスがとても混む。金閣寺前通る道幅狭い。	1	D
-	-	歩道に自転車の道をつくるのではなく、車道に自転車の専用の道路を作るべきだと思った。	1	D
-	-	地下鉄の駅を増やす。バスや電車の終電をもう少し延ばす。高い。	1	D
-	-	シェア自転車を作って欲しい。駐輪場が有料だと、自転車を違法駐輪し、交通の妨げになる。	1	D
-	-	京都の古い家を住みやすく、若者向けに活用	1	D
-	-	家賃が高いので、学生が住みにくい。	7	D
-	-	スポーツ施設を増やす。	1	D
-	-	町家を活用した若者向けの住宅の整備や若者向けの家賃補助の制度が欲しい。	1	D
-	-	学生減税や市民税減税など、学生や新卒に住み良いまちの推進。	1	D
-	-	観光インバウンドの規制。特区など制限を設ける。	1	D
-	-	地方公務員の給料を上げるべき、特に消防士。逆に役所の給料下げるべき。	1	D

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案 区分
-	-	バスや電車など交通機関の充実してほしい。	2	D
-	-	自転車での移動が多いと思うので、シェアサイクル、サイクルロードなど、ECO先進国の知見を活かして欲しい。	1	D
-	-	まち(京都)の中で「思い出スポット」をたくさん作ってほしい。	1	D
-	-	京都を舞台にした小説(ノベル)を書いてほしい。	1	D
-	-	なくなりつつある町家や銭湯などに光をあててほしい。	1	D
-	-	京都市南区の方に学生の財布にも優しいスーパー等を作って欲しい。	1	D
-	-	学生証の提示で割引等の特典がつくような店を多くして欲しい。	2	D
-	-	仕事も育児も両方が安心して出来る様な町になって欲しい。	1	D
-	-	保育園, 学童の指導員等が安心して働ける賃金の確保を引き続きお願いしたい。	1	D
-	-	観光客が多いなと思う場所には行っていないと地元の人は思っている。年寄りなどバスに乗るのも大変だったり、地元に住む人にはやさしくない町になっている。そこに生活する人にもやさしい町になって欲しい。	1	D
-	-	観光客や海外からくる訪問者へのサービスは進んでいるように感じる反面、京都府外から通勤し、京都在住ではなくても京都で働く人を対象としたサービスがあまりないように感じる。	1	D
-	-	京都の大学生がさらに卒業後も京都で働いて住みたいと思うようにするためには、交通環境を整え、人口の集中を抑えることも必要なのではないか。市街地の一極集中ではなく、郊外にもっと住むエリアを拡大させる必要があると感じる。	1	D
-	-	時給安いので住みたくない。	1	D
-	-	若者が多いことを理由に京都に進出する企業が増えている。市内だけにとどまらず、京都市外の行政と京都の田舎をサテライトオフィスにできるなど、住居確保の連携がとれると良いのではないかと。そして、新しい企業を京都に誘致できれば、若者にとって仕事の選択肢が増えて良いのではないかと。	1	D
-	-	龍谷大学大宮学舎付近に飲食店を増やして欲しい。	1	D
-	-	駐車場を増やして欲しい。	1	D
-	-	廉価な住宅環境の提供。具体的には、シェアハウスの増築、補助金の提供が挙げられる。とりわけ京都には町家が多い(郊外に)がそれを十分に活用出来ていないところがある。そこで町家で暮らす学生に、交通費補助を行うなど、町家を中心とした活性化案を強く推奨する。	1	D
-	-	自転車で行動しやすい町。	1	D
-	-	バスの本数を増やして欲しい。観光客と学生のバスを分けて欲しいと思うくらい混んでいる。	1	D
-	-	ごみ箱を増やして欲しい。	1	D
-	-	京都の地場産業を発展させなければならない。	1	D
-	-	地方からの学生のために、安い住居、アルバイト(健全な)斡旋。	1	D
-	-	学生が興味を持てる住みやすいマンションを作る。	1	B
-	-	京都大学を育てる。	1	B
-	-	観光地としての京都を重視し過ぎている気がする。街並みも観光客向けに作られていて、カフェやお土産屋さんが多い。一方で「学生のまち」としての街並みは手薄で、スーパーや100均など日常生活に必要なものを揃える店や、お手頃な値段で買うことができる店が少ない。もう少し観光客だけでなく、学生のことにも気に掛けて欲しい。	1	C
-	-	昔の様な間借り、学生食堂があるまちの雰囲気が良かった。キャンパスがあちこちに点在してしまい、学生の活気も感じられない。大学の拡大よりも大学本来の学問をすることが必要ではないか。	1	C

頁	箇所	意見要旨	件数	対応案区分
-	-	最近国自体弱っている。昨今、なかなか就職が難しい中、学生さんらしく、勉強を精一杯頑張ってほしい。	1	C
-	-	1300年昔の京の都の古風な風が吹いている様な所があるので、これを新しい年号の機会にどんどん新しい機会にして変えて、若い人の力をどんどん取り入れてほしい。	1	C
-	-	神社仏閣のまちというイメージがある。もっと遊べるまち、華やかなまちになれば。スポーツ施設があれば良いのでは	1	D
-	-	京都外からの学生さんに来てもらって、京都に住んでいると実感してもらえるように町屋風の学生さんの住居を用意してみる。まちの雰囲気も京都らしさが出る建物が増えると良いと思う。	1	C
-	-	大学生に優しい賃貸アパートを増やす。	1	C
-	-	共同寮のような、学生が利用しやすいものを増やす。	1	C
-	-	他府県民を下に見下していると思われる京都府民のイメージの撤廃。	1	C
-	-	学生さんが色々な話をしっかり聞くようにした方が良い。辛抱、忍耐が足りない。厳しくした方が良い。今は勉強、勉強で塾ばかり。	1	C
-	-	学生向けシェアハウスを増やす。	1	B
-	-	自分で考え、人のマネではなく、学生がイキイキするまちになれば良い。	1	B
-	-	滋賀県に企業が増えているが京都には少ない。他府県に行けば京都に行きたい人が多いが定住はどうか。	1	C
-	-	学生がたくさん京都で学んでいても、将来京都市に就職してもらわないと政策効果としては薄れるので、大学の学費が高い今、京都市独自の奨学金などを新たに設立し、京都市の企業に就職すれば返還不要などの政策があってもいいのではないかな。	1	C
-	-	大学に行きたくても財政面などの諸事情により行けない方や大学に行ってもバイトなどをして生活するのに必死でほかのことをする余裕がない方もいるかと思われるが、そういった方をちょっとでも少なくする視点や支援策があればよりいい。	1	C
-	-	大学に進学する時に、一番不安になるのが奨学金の返済だった。学生の負担をもう少し少なくしてほしいと思った。	1	C
-	-	学生の大半が金銭面で悩んでいるはずで、奨学金があるとしても、返すことも考えないといけなくて、奨学金制度だけでなく、他の方法で学生が悩んでいる金銭面の課題を解決してほしいと思った。	1	C
-	-	京都の大学の授業料が高すぎる	1	C
-	-	奨学金をもらえるサポートがあればいい。	1	C
-	-	大学生生活にかかる経済的な点をサポートする制度があると京都外に住む大学生も京都での進学を視野に入れるのではないかなと思う。特に地方の女子生徒は地元に残れプレッシャーが大きいと思うので、経済的なサポートがあると少しバリアが下がると思う。	1	D
-	-	児童手当の延長のようなもので学びたくても学べない人への救済制度など、地方出身者で下宿したい人への環境整備。	1	D
-	-	地下鉄、市バスなどのインフラの向上による学生生活の流動化	1	D
-	-	大都会に負けないぐらいのよりよいまちづくりをする。	1	D
-	-	京都市内や近郊に多数の大学教員・研究者を抱えていることは京都にとっても大きな財産である。彼らが地域社会に公私で関わることが社会にとってもプラスになっていると思われるのに、教員・研究者の生活や研究環境のことに触れられていないことは、重要な視点が欠けていると思う。教員・研究者のことをしっかり位置づけて、施策を盛り込んでほしい。 若手研究者の非正規雇用化が進んでいることは非常に大きな問題である。若手研究者が京都市圏で安定して働き、研究成果を上げられるような環境整備が必要。	1	C
-	-	愛称は京都なのだから絶対にカタカナ外国語にはしないほしい。	1	C
-	-	キャンパスプラザの開館を延長してほしい。	1	C
-	-	学生マンションの紹介を通じて府外から中高生から呼ぶ。	1	C
-	-	学生寮、学生マンションを増やしたり、そのアピールの機会を増やす。	1	B
-	-	精華大学の近辺に住んでいるが、まわりにほとんど商店がなくなっている。	1	C
-	-	エンタメ性を探求すること	1	C
-	-	京大吉田寮の建物の再利用	1	D
-	-	学生の住宅地域をつくる。	1	C
-	-	地方から単身で来る場合、地元に着した住まいの提供をしていく。	1	C